

感染症週報〔市内週報 平成24年第22週〕

結核・感染症発生動向調査

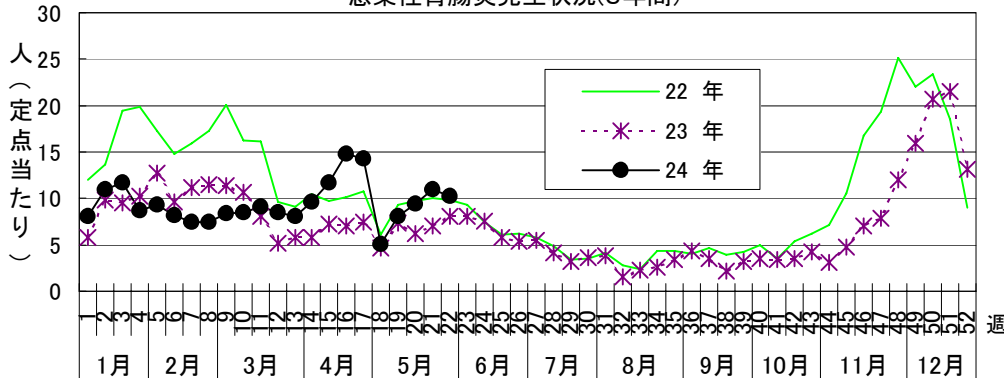
平成24年6月5日

平成24年第22週感染症発生状況【川崎市内】

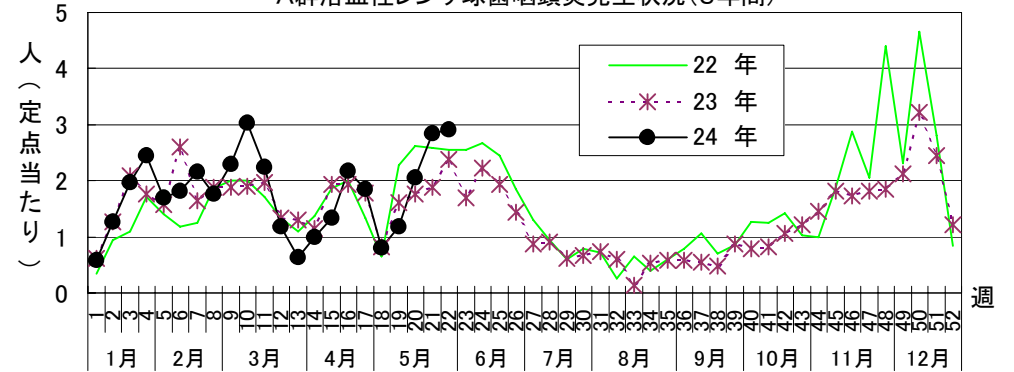
平成24年5月28日～6月3日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成24年第1週以降)
<p>第22週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発疹でした。 感染性胃腸炎は定点当たり10.21人と前週(10.97)より患者報告数はやや減少しましたが、例年に比べ高いレベルでの推移となっています。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.91人と前週(2.85)より患者報告数は増加していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。 突発性発疹は定点当たり1.48人と前週(0.97)より患者報告数は増加しており、平成11年のデータ収集開始以来、同時期において3番目に多い報告数となっています。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 10件	結核 188件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 1件 腸管出血性大腸菌感染症 2件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	E型肝炎 1件、デング熱 2件 マラリア 1件、レジオネラ症 4件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 4件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 4件、梅毒 5件 破傷風 1件、風しん 2件、麻しん 1件

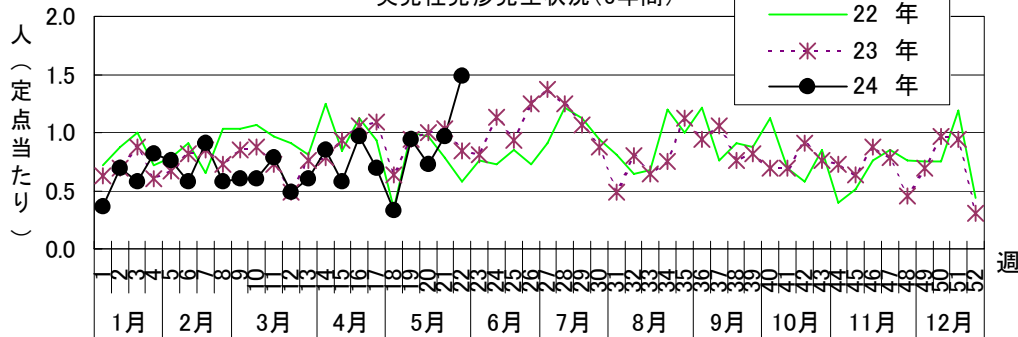
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



突発性発疹発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

